

科目ナンバリング		G-LET09 65731 LJ34									
授業科目名 <英訳>		美学美術史学(特殊講義) Aesthetics and Art History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 岡田 暁生			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		モーツァルトの現代性について									
【授業の概要・目的】											
モーツァルトは音楽史最大の「天才」として名高い。しかし天才とは何なのか、一体モーツァルトの何が、どのような意味で不滅なのであるか等については、正面から論じて来られたことはあまりない。この講義ではモーツァルトの生きた18世紀の思想的な文脈から彼の音楽の特質を明らかにする。											
【到達目標】											
モーツァルトの生涯と主要作品ならびに18世紀啓蒙思想とのつながりについての基本的な知識を習得する。											
【授業計画と内容】											
1回-3回：モーツァルトの何が比類ないのか（少年時代、天才の概念の歴史、教育パパの問題などを扱う） 4回 - 6回：天才と成熟について（ウィーン時代および自由芸術家について扱う） 7回 - 10回：「偉大」と「父性」について（主としてバッハならびにベートーヴェンとの比較） 11 - 12回：芸術作品の不滅性と賞味期限について 13 - 15回：モーツァルトと啓蒙思想（「愛」「礼節」「優美」「メランコリー」等の概念について扱う）											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートによる。評価は到達目標の達成度に基く。独自の工夫が見られるものについては、高い点を与える。単なる既知情報のまとめではなく、各自の明快な問題意識およびその展開を最重視する。											
----- 美学美術史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

美学美術史学(特殊講義)(2)

[教科書]

使用しない
毎回レジメを配布する。。

[参考書等]

(参考書)
岡田暁生 『恋愛哲学者モーツァルト』 (新潮社)

[授業外学習(予習・復習)等]

授業で扱う音楽についてYoutubeなどで適宜実際に聴くこと

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。